

PARK-FOOD-LAB浦添の整備

2019/10/16
地域創生プラットフォーム

フードラボとして、プロ仕様の厨房機器を備えたキッチンを中心に、イベント開催可能なダイニング、カフェ、ワークショッブルームなどのコミュニティスペースを公園内に整備します。

具体的には以下の複合的機能を持たせます。

- ・食を活用した多様な地域イベントの開催
- ・インバウンド等観光客を対象とした食文化の体験
- ・地域食材を活用したレシピ、加工食品等の開発
- ・公園の広場を活用した本格的な屋外美食イベントの開催
- ・食のスタートアップの支援

「琉球庭園都市」のコンセプトに沿って、ランドスケープデザイナーや建築家などの専門家の参画により、アート志向の琉球文化などにリスペクトした、世界の一流シェフが共感する意匠の魅力的な施設整備を行います。

ベースとなる仕組みと装置

フード ラボ

フードラボとは、食を通じて、社会問題を解決していく実証の場の総称。

全国で、フードラボという呼称で食関連施設が広がっている。商業施設、公的機関などで集客や地域活性化のコンテンツとして注目され、日本食文化の発信や地方食材情報発信など効果が期待されている。東京では2019年9月に中央区京橋TOKYO FOOD LABとして、レタスの栽培設備と厨房施設を設置した交流スペース「U」が設置されている。食拠点施設の新たなスタイルとして今後全国への広がりが注目されている。

フードラボとは

フードコンプレックス

大学等人材育成機能、研究開発機能、体験学習機能、交流機能を集積させた食の複合拠点として、フードラボのセンター機能、国際的な食の拠点機能を持つ

中核都市型

スタートアップ支援、コワーキングキッチンなど料理学校併設、工業技術センター併設など都道府県レベルでの設置

地方農村型

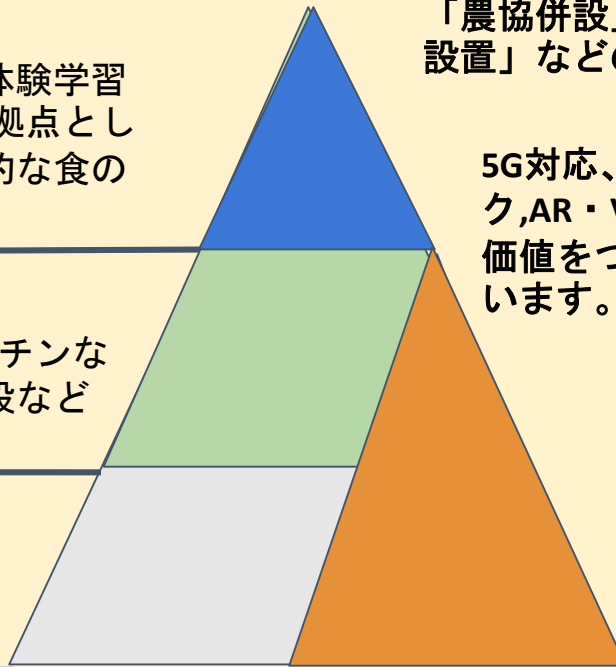
6次産業化、特産品開発、道の駅併設、地域食材・伝統料理、食文化の伝承

フードラボは「道の駅併設型」、「駅併設」、「農協併設」、「商店街設置」「商業施設内設置」などの様々なスタイルが考えられます。

5G対応、キャッシュレスやスマートロック,AR・VRなどSociety5.0に対応した付加価値をつけて差別化が必要と考えられています。

市街地型（都市公園型）

中心市街地活性化、美食倶楽部（スペイン・バスクがモデル）の活動拠点、コミュニティ活性化、シェフのレシピ開発、食イベント開催、リノベーション施設など



ここに国内外からさまざまな食のクリエイターが集い、刺激や交流が生まれ、想いが実現されていく...そんな夢を叶えるステージになることを目指しています。 [目指すこと]HPより

OSAKA FOOD LAB（大阪フードラボ）では、プロ仕様の常設キッチンスペースを利用いただけます。開業・起業や新規事業立ち上げに必要なノウハウを習得できる「育成プログラム」や「ビジネスマッチング」の機会を提供しており、食のプロ・アマ問わず活用いただけます。また、イベントスペースとしての貸出も行っています。

主催：阪急電鉄株式会社



2020年夏 開業予定山手線新大久保駅シェアダイニングイメージ

©JR東日本 2018

山手線新大久保駅に「食」に関わる人々が集い・交流することで、新しい食文化を創造することを目的とした交流拠点を開設すると発表しました。

この施設は、JR東日本が山手線を起点に「東京感動線／TOKYO MOVING ROUND」のコミュニケーションワードのもと、まちの個性を引き出し、まちや人が有機的につながる心豊かな都市生活空間を継続的に創り上げていくプロジェクトの一環として、設けられるものです。

新大久保駅は、山手線沿線でも特に「国際的」「豊かな食」という個性を有している駅です。駅に隣接するビル内の3階にキッチン、ダイニング、ショップを備えた「シェアダイニング」を、4階にワークスペース、ミーティングスペース、ライブラリー、テストキッチン、食品保存スペースを備えた「コワーキングスペース」を設け、食を通じた新しいライフスタイルを提案するとしています。開業時期は2020年夏の予定です。

2019年9月開設 都市施設農業拠点とコミュニティ複合施設

T O K Y O F O O D L A B



TOKYO FOOD LAB 外観写真

4. 食のイノベティブコミュニティ拠点「U(ユー)」

ケイオスは、2019年9月3日に食のイノベティブコミュニティ拠点「U」を「TOKYO FOOD LAB」内にオープンします。八重洲・日本橋・京橋エリアは、これまで日本の交通のハブであり、東京駅に近接する地理的環境から、企業の本社や東京支店等が集積するビジネス街として発展してきました。その歴史と伝統を継承しつつ、ビジネスパーソンだけではなく、そこにくらす人、訪れる人を含めた、新たなコミュニティを大切にしていきます。それにより、ビジネスが芽生え、人が訪れ、交わりながら、くらす人の生活も豊かになるという、街としての新しい価値が育つ場を創出します。

「U」は食に携わる地域の人々、街を訪れる多様な人々と繋がり、「世界の食をアップデートする」をテーマに、世界共通の社会課題解決のために、新しい調理方法や食の楽しみ方などに関する知見を共有し、体験できる「場」となります。



都市型 植物工場が稼働



キッチンラボとして厨房施設をもつ交流拠点 「U」

TOKYO FOOD LAB「U」の交流会 仮）U-Gathering 11月開催

Innovation salon

食のハイパフォーマーが
集うサロン

Work Cafe

同志が空き時間
気楽に集うスペース



Development Gathering

新しい食ビジネスを
生み出す交流会

Knowledge Place

食のクリエイティブな情報と
出会える場

運営：ケイオス 協力：地域創生プラットフォーム

食のCo-workサロン 選ばれたメンバーの交流拠点

将来：フードラボ推進協議会＝全国活動のフードラボを支援するプラットフォームへ

「世界の食をアップデートさせる」 「世界共通の社会問題の解決」

明石海峡公園／淡路地区 Park - PFI



(以下日経BP記事より抜粋)

明石海峡公園は、明石海峡大橋を挟んで神戸地区約230ha、淡路地区約100ha、全体計画面積330haの国営公園。淡路地区は大規模土取り場の跡地に整備を進めており、2002年3月に開園した。毎年約40万～50万人が利用し、5年おきに開かれる「淡路花博」の2015年開催時には約84万人が訪れた。

今回のPark-PFI事業の対象は、淡路地区海岸ゾーンの一部「シースケープ・ラウンジ」だ。約2.9haのうち、国が整備する駐車場や主要園路などを除いた約1万600m²を民活エリアに設定。2018年10月に公表した「公募設置等指針」で、この民活エリアの全体基本構想の提案を求めた。

アクアイグニスグループの提案の概要は

- (1) 公園に「食と健康」の要素を追加する役割を持つ複合温浴施設を設置。
- (2) 公募対象公園施設として複合温浴施設、カフェ、レストラン、舗装広場の計4077m²を整備。
- (3) 特定公園施設として園路、芝生広場、修景施設、休憩施設の計4260m²を整備。
- (4) 利便増進施設として広告塔、総合サイン、駐車場の計173m²を整備

アクアイグニス（東京都）、くにうみアセットマネジメント（同）、フィーストインターナショナル（同）、淡路国（淡路市）の4社でつくる法人が担当 代表法人はアクアイグニスで、三重県でリゾート施設を運営するなどしている。同公園の海岸沿い約22ヘクタールのうち、海辺の散歩や買い物を楽しむ「シースケープ・ラウンジ」の約1ヘクタールを整備する

冬に入園者が減るほか、飲食できる店が少ないのが課題だった。同施設によって年間を通して来園者の増加を目指す

展開に関して：「食の複合拠点」づくり

フードラボは 特徴的な装置ですし、単体でも非常に大きな働きをします。ただし面での発展（2次元）、他分野への拡張（3次元）ゴーイングコンサーン（4次元）を考えると「食」という基軸を利用した複合的な施策や仕組み作り、それに沿った施設形成が有効であると考えられます。

食の複合拠点



※ 食を起点に観光拠点としての役割も担う。空港や主要ターミナル駅へのリムジンバス発着場を備えるなどの物理的拠点とする。同時に日本各地特に地方地域へのディスティネーションや投資を促す情報発信を行う。一般的な集客やMICE施設の必要機能としても有効。

観光の物理的拠点／情報拠点



展開に関して：「食の複合拠点」づくり

食の複合拠点

大学／大学院大学／専門職大学要素
(アカデミー：A)

研究
施設

学習
施設

技術習得施設

R&D施
設

研修
施設

インキュベ
ーション施設

ビジネス
マッチング
施設

R&D/スタートアップ支援要素
(イノベーション：I)

「A」「I」「E」の融合により単独では継続性が低い事業を補完と誘発により、ゴーイングコンサーンと新産業の創出を狙う

体験消費要素
(エクスペリエンス：E)

飲食店

食材
販売店

調理用具
販売店

アンテナショップ
ショールーム
ライブキッチン
キッチンスタジオ

食文化体験施設
ミュージアム

コンベンション
施設

観光情報
発信施設

交通
ターミナル

連携

公 園

フードラボ

その他
機能



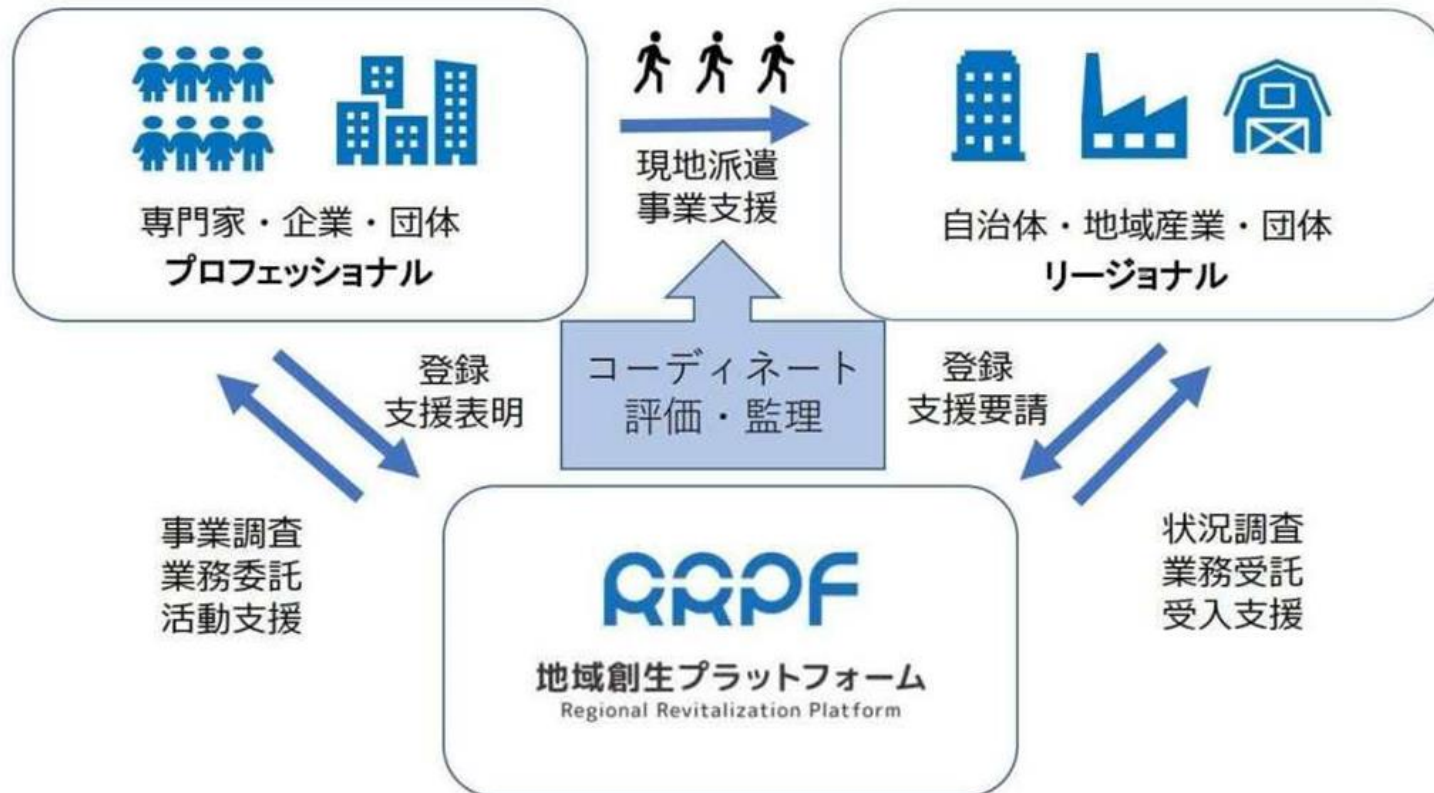
地域資源を活かし協業体制を実現する企業・団体のネットワーク構築、そして、地域と民間専門家、企業組織の3者を連携させる、「プラットフォーム」です。

農業高校365校の指導団体全国農業高等学校長協会の地域連携相談窓口業務受託や経済産業省の「未来の教室」プロジェクト、静岡県沼津市町方町再開発支援など各地の地域創生プロジェクトでスペシャリストが取り組んでいます。（令和元年9月末現在スペシャリスト46名、企業等5団体登録）

URL: <https://rrpf.jp/>

お問い合わせは：info@rrpf.jp 03-4405-7184（代表） 担当：塚田

地域創生マッチング



地域の創生を目指す企業、団体、自治体、専門家、個人が多様な連携を図るネットワーク型組織。地域創生プラットフォームのサイトです。

RRPF 地域創生プラットフォーム
Regional Revitalization Platform

お気軽にお問い合わせください。
TEL 03-4405-7184

[ホーム](#) [home](#) [地域を支援する](#) [help you](#) [地域の支援を求める](#) [help us](#) [開催イベント・セミナー](#) [events](#) [投稿アーカイブ](#) [post archive](#) [お問い合わせ](#) [contact](#)

プロフェッショナル

[HOME](#) > [プロフェッショナル](#)

本間智美

2019年6月12日 [Web制作](#) [イベント開催](#) [インバウンド](#) [デザイン](#) [プロモーション](#) [マーケティング](#)

[まちづくり](#) [人材育成](#) [健康・福祉・子育て支援](#) [商品開発](#) [商業](#) [地域ブランド](#) [文化・芸術](#)

[映像制作](#) [経営企画](#) [観光](#) [農林水産業](#) [食・飲料](#)

建築家・地域プロデューサー／文化と社会を芸術(美術と建築)で結ぶ合同会社OBIの共同代表／新潟市南区まちづくり...

[この記事を読む](#)



笹田 裕

2019年5月15日 [イベント開催](#) [インバウンド](#) [プロモーション](#) [マーケティング](#) [まちづくり](#) [商業](#)

[地域ブランド](#) [経営企画](#) [観光](#)

1979年国鉄入社以来SCの開発・管理を行い、現在のアトレで四谷・新浦安・大井町・恵比寿の駅ビルを開業させ、運...

[この記事を読む](#)



川上大介

2019年5月13日 [イベント開催](#) [インバウンド](#) [プロモーション](#) [マーケティング](#) [商品開発](#) [商業](#)

[地域ブランド](#) [文化・芸術](#) [経営企画](#) [観光](#) [農林水産業](#) [食・飲料](#)

【経歴】1993年 早稲田大学商学部卒業 1993年 株式会社トーマン食品第二部洋酒課 2000年 トーマン...

[この記事を読む](#)



鍋持 勝

2018年11月19日 [インバウンド](#) [プロモーション](#) [マーケティング](#) [まちづくり](#) [人材育成](#)

[地域ブランド](#) [経営企画](#) [観光](#)

観光業に従事してから35年目。日本各地のスキーリゾートの再生とDMO組成を行う。2002年、ニセコ地域のイン...

[この記事を読む](#)



ログインステータス

ログインしていません。
ユーザー名

パスワード

[ログイン](#) [パスワードをお忘れですか？](#) [登録](#)

お問い合わせはこちら
お気軽にご相談・お問い合わせ下さい。

最近の投稿

ドイツ学びの旅 ～視察セミナー～
「都市農業」と「地域マネジメント」

2018年3月30日

ドイツ学びの旅 ～視察セミナー～
ドイツの地域創生の取り組みを現地で
体感的に体系的に学ぶ視察セミナー

2017年12月7日

地域創生のプラットフォーム

2017年10月18日

未来の年表 人口減少日本でこれから
起きることの提言はあり

2017年9月13日

縮退する街との付き合い方 ～讀びな
い街づくり～ 橋本泰作

2017年6月28日